

視察コース紹介

【Cコース】 11月12日(火) (日帰り)

「観光文化コース」

参加費： ¥13,000-

実施日	時間	行程
11月12日 (火)	午前 午後	(08:30ホテル発) → 金屋町(銅器体験・工房見学) → 高岡大仏 → 創遊館(昼食) → 庄川遊覧船 → 合掌造り集落 → 高志の国文学館 → ホテル (18:00頃)

視察ポイント:

富山県西部地域を中心に、県内の産業・文化をご紹介します。全国の銅器生産の9割を占める高岡銅器は、国の指定を受けた伝統的工芸品です。現在にも伝わる高い技術と伝統を、その文化をはぐくんだ高岡市の魅力と併せて体験いただきます。また、世界遺産五箇山合掌造り集落では、400年前の生活様式を今もなお受け継ぐ里山の暮らしを見学していただきます。

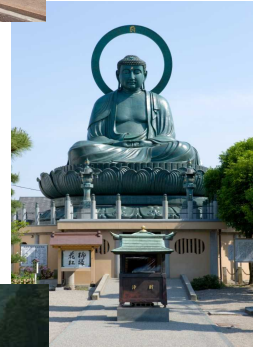
視察先紹介:

◆高岡銅器(金屋町)

高岡銅器は、江戸時代の初め、加賀藩が、7人の鋳物職人を招いて鋳物工場を開いたことに始まります。明治時代には、パリ万国博覧会に出品されて世界でも知られるようになり、現在は日本の銅器の9割が高岡で生産されています。

金屋町には、現在も多くの工房があります。また、「さまのこ」と呼ばれる千本格子造りの街並みは、2012年に国の重要伝統的建造物群保存地区となりました。

視察では、銅器の体験・工房見学の後、日本三大大仏の一つである高岡大仏を視察します。



◆庄川遊覧船

庄川峡は、春には桜、夏には木々の緑、秋には美しく色づく紅葉など、四季折々の風景が人々の目を楽ませてください。庄川峡の美しい自然を湖上遊覧船でお楽しみください。



◆世界遺産合掌造り集落

世界遺産五箇山合掌造り集落では、相倉に20棟、菅沼に9棟の合掌造りがあり、古いものは400年前のものといわれています。江戸時代の姿のままに、今も人々が暮らしています。1995年12月9日にユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。(日本では6件目)



◆高志の国文学館

富山県は、万葉歌人・大伴家持が223首もの歌を詠んだ越中万葉ゆかりの地です。また、堀田善衛や源氏鶏太、角川源義といった作家を輩出しているほか、富山を舞台にした文学作品も多数あります。さらに富山県は、多くの映画監督や、漫画家の藤子不二雄[Ⓐ]、藤子・F・不二雄らを生んでいます。

高志の国文学館は、文学・映画・アニメなど、富山県ゆかりの作家や作品の魅力幅広く発信し、誰もが気軽に「ふるさと文学」に親しめる場です。

